

令和2年度 湖北広域行政事務センター議会議員研修

研修の概要

●実施日 令和2年11月24日(火)

●研修施設 防府市クリーンセンター

可燃ごみ処理施設・バイオガス化施設・リサイクル施設・し尿処理施設

山口県防府市大字新田364番地

※年度当初は、現地視察研修を5月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し10月に延期、以降実施を検討し、やむなく中止しました。このため、代替事業として、事前に湖北広域行政事務センター職員が施設へ赴き、撮影した写真や動画をもとに、研修を実施したものです。

●参加人数 30人(センター議員14人、構成市職員4人、センター職員12人)

●研修目的 現在、センターが整備計画を進めている新一般廃棄物処理施設は、高効率なエネルギー回収と二酸化炭素排出量の低減を図ることを目的に、バイオマス化施設を併設する熱回収施設として、具体的な検討を行っているところです。
センター議会としても今後の施設整備計画を検討していくうえでの参考とするために、人口や施設規模が同程度であり、また、全国で初めて国の交付金を受けて整備された、山口県防府市のクリーンセンターの整備経過や施設概要について研修を行いました。

【防府市クリーンセンター】

○人口 115,627人(令和2年11月現在)

○施設面積 約48,300㎡

○施設規模 可燃ごみ処理施設 焼却設備:75t/日×2基

発電設備:定格出力3,600kW

バイオガス化施設 発酵設備:51.5t/日

(可燃ごみ34.4t/日、汚泥17.1t/日)

リサイクル施設 23t/日(5h)

○H26.4 供用開始

研修内容

15:10 研修開始

湖北広域行政事務センター職員から、防府市クリーンセンターのバイオガス化方式導入を含む施設整備経過並びに施設概要について説明を受けました。

その後、質疑応答が行われ、研修施設の稼働状況を踏まえた湖北広域行政事務センターが計画する新施設の環境面に関する方針について、また、新施設整備に係るPFI事業の委託契約内容に関する今後の資料提供について質問を行い、職員から方向性等の回答を受けたものです。

15:50 研修終了

◆研修の様子

【紹介写真(抜粋)】



①施設全景ジオラマ



②受付棟



③計量棟



④可燃ごみ処理施設全景



⑤資源ごみ貯留場



⑥蒸気タービン発電機



⑦メタン発酵槽



⑧ガスホルダー

【研修風景】

